

分野横断での 適応策推進に向けて

気候変動の影響は、気候変動の影響予測や評価のみではなく、その地域の今後の人口動態や土地利用、生態系サービス、産業、交通、エネルギー等の社会・経済面によっても大きく異なります。

そこで、このような気候変動の影響と社会・経済的な変化の双方を組み合わせた将来の脆弱性・リスクを把握し、これらの情報をもとに分野横断的な脆弱性・リスクの抽出を行うための自治体向けワークショップモデルの手引き書を作成いたしました。

庁内横断的な適応策検討に向けて、ぜひ、ご参加いただければ幸いです。

日時:3月7日(火)13時30分～15時30分

会場:オンライン(Webex)※お申込者にリンクを送付します。

1 講演

気候変動影響と脆弱性・リスクに、自治体はどう向き合うか？

名古屋大学大学院環境学研究科 特任准教授 杉山 範子氏

広域連携による地域での適応策推進に向けて

—水資源、流域から考える—

中部大学 副学長 中部高等学術研究所 所長 教授 福井 弘道氏

2 ワorkshop開催モデル自治体からの体験談

- ・ 富山県 生活環境文化部 環境政策課
- ・ 長野県小布施町(事務局代理発表)

3 横断的な脆弱性・リスクの抽出を行うための 地方公共団体向けワークショップの手引きについて

申込・問い合わせ(3月3日(金)※)

申込フォーム(URL:<https://forms.gle/D6FiP8UQxMWsGWA28>)またはメールにて、氏名(ふりがな)・ご所属・役職・メールアドレス・TELを明記の上お申し込みください。メールでお申し込みの際は、件名を「中部適応3月7日研修会申込」と記載の上、送付ください。

▼事務局▼

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)
(担当: 中川、霜倉)E-mail: adapt-chubu@arpak.co.jp
Tel:06-6205-3600(10時～16時)

主催:環境省中部地方環境事務所 気候変動適応中部広域協議会